

台中JCが我がLOMとの 交流40周年を記念し 市内の公園に休憩施設を贈呈

わがLOMの
シニアクラブ

東大阪
JC [大阪]

東大阪 JCシニアクラブ

は、現在会員数499名を擁し、会員相互の親睦や情報の共有を目的として活発に活動しており、あわせて現役メンバーとの交流も積極的に行っております。毎年開催される「じゃがいもゴルフコンペ」や「シニア合同例会」などの事業にも多くの登録があり、現役とシニアとの大切な出会いの場となっております。

そんな我々東大阪JCシニアクラブと台中JCシニアクラブとの交流の話です。

本年7月16日に台中国際青年商會（台中JC）が我が東大阪JCとの姉妹締結40周年を記念して、地元台中市に公園の休憩施設である姉妹棟を贈呈することに、その式典に参加しました。この棟は青と赤のツインの休憩施設です。青の棟が東大阪JCで大理石の床を中心に東大阪JCのLOM旗が



公園の休憩施設贈呈式

彫り込まれています。もちろん赤の棟には台中のLOM旗です。

二つのLOMの出会いを簡単に紹介いたしますと、1974年のアジコン大会がソウルで開催された時、そこへ向かう列車のなかで2つのLOMの先輩たちが意気投合されたのだそうです。話はトントン拍子で進み、翌年には姉妹JCの調印式が執り行われました。昔と違い、台中市には現在10のLOMがあり、台中JCの現役メンバーは50人程度ですが、ことあるごとにOBメンバーが陰で協力することで、より以上の力を発揮するLOMです。今回、我々の訪問時に李登輝前総統から、我々東大阪のメンバーのために日本語で予定の1時間を超えるお話を頂戴いたしました。現役・シニアメンバーとも深い感銘を受け、改めてTACHINGPAWを見せつけられた



式典であいさつする谷村シニア会長

気がします。

また、彼らは日本国内に3つの友好LOMを持ち、香港やマレーシアに6つの友好LOMを持つ国際人です。海外との付き合い方、そして現役との接し方など学ぶことの多い彼らとの交流を我々シニアクラブも大切に発展させたいものです。

40年前に姉妹調印された先輩諸兄たちに改めて感謝申し上げます。同時に、当時の理事長であられた、故徳美信龍先輩、故濱谷利一先輩のご冥福をお祈り申し上げます。

東大阪JCシニア・クラブ

セクレタリー 田中勝明(29年組)



台湾の李登輝前総統と台中公式訪問団